

平成20年 9月16日
原子力安全対策課
(2 0 - 5 0)
<14時記者発表>

敦賀発電所 2号機の調整運転停止について
(高圧タービン主蒸気入口配管付け根部付近の蒸気漏れ)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

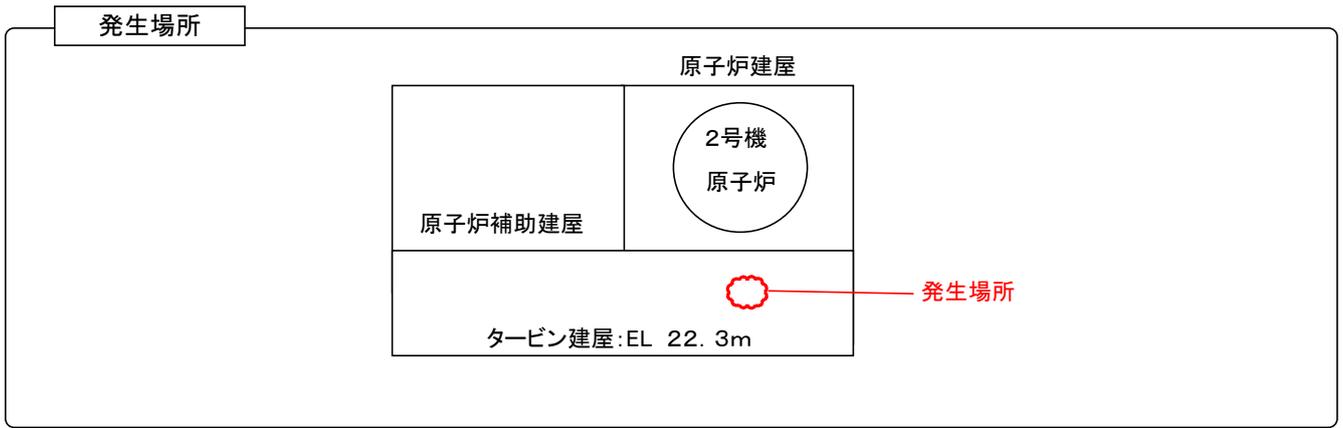
敦賀発電所 2号機(加圧水型軽水炉；定格電気出力116.0万kW)は、平成19年 8月26日から第16回定期検査中で、定格熱出力で調整運転中のところ、本日、電気出力を約95%としてタービン弁の定期試験(1回/月)を実施した後、現場確認を行っていたところ、11時45分頃に、高圧タービンの主蒸気入口配管付け根部付近を覆う保温材から、僅かに蒸気が出ているのを確認した。この時の電気出力は約97%であった。

このため、当該箇所の点検を行うため、本日12時30分から出力降下を開始し、20時30分頃に発電を停止し、23時30分頃に原子炉を手動停止する予定である。

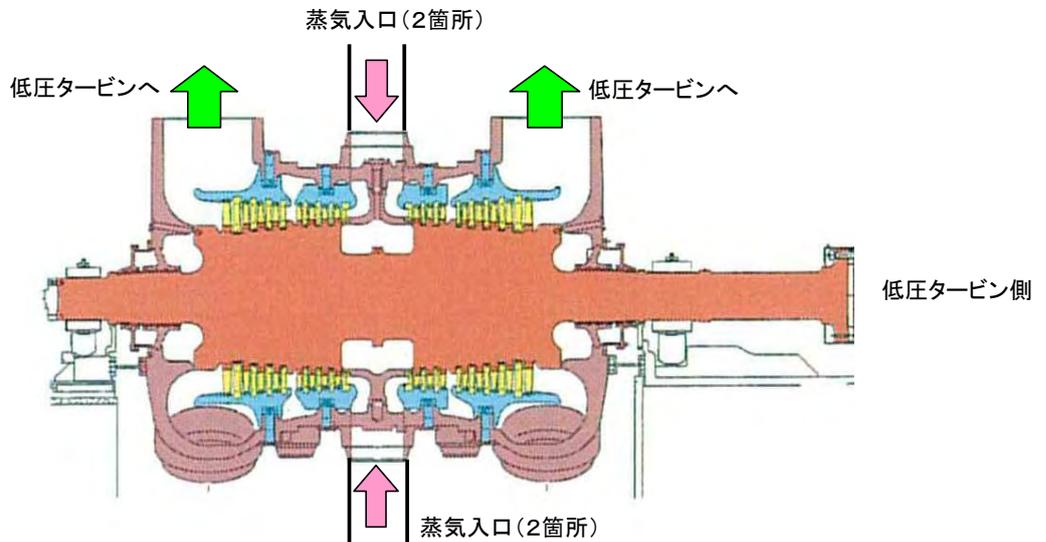
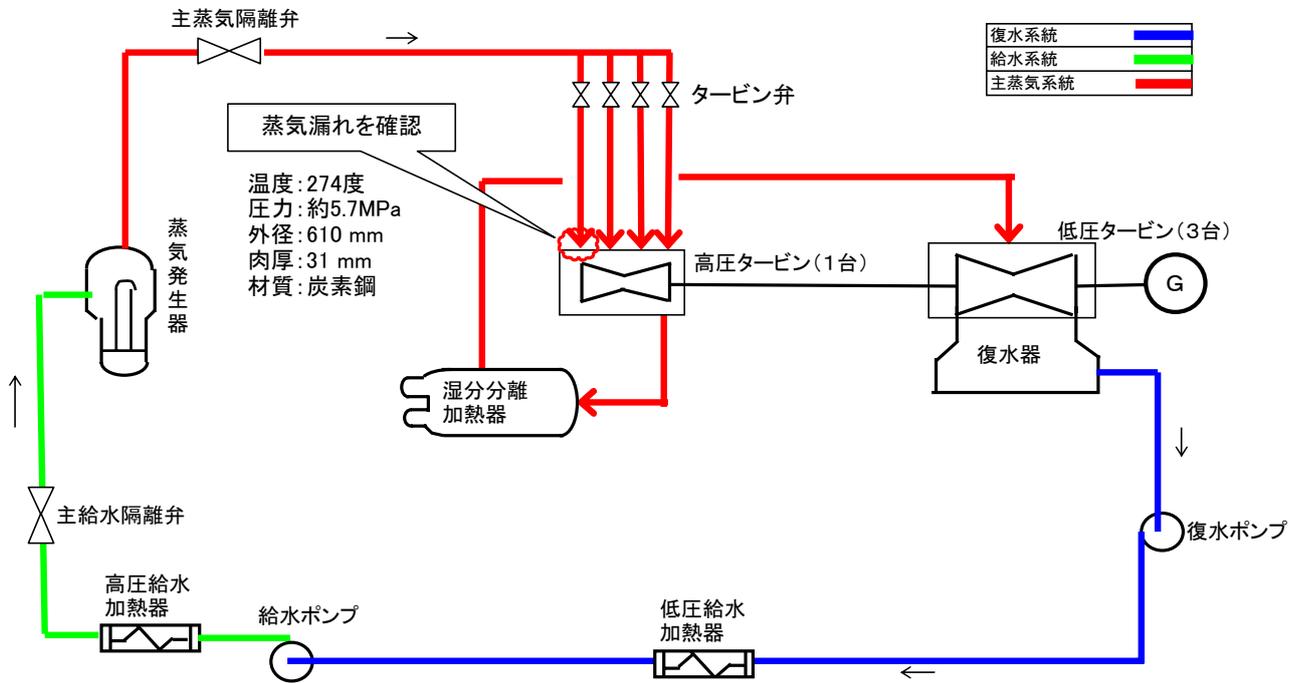
なお、本事象による周辺環境への放射能の影響はない。

問い合わせ先(担当：吉田)
内線2354・直通0776(20)0314

敦賀発電所2号機の調整運転停止について
 (高圧タービン主蒸気入口配管付け根付近からの蒸気漏れ)



系統別概略図



《高圧タービン断面図》